

体育祭を終えて

前回に引き続き、体育祭の作文を紹介します。

「体育祭を振り返って」 3年2組 生徒

私は、今年体育祭実行委員をやりました。初めてのことが多くてクラスをまとめられるか心配でした。体育祭の練習で初めて外で大縄跳びをしたときはAのグループは跳べていたけどBのグループのほうがあまり跳べていなくて3組にずっと負けていました。ムカデリレーでは初めの方は良かったけど最後の方になってくると間隔がすごく狭くなってきたり声が聞こえなくなったり、前の人を押してしまうなどといった課題だらけでした。全級リレーではバトンパスがうまくいかなかったり順番を何度も考えたりしました。そして体育祭に近づくにつれて課題も少なくなってきました。大縄跳びではBのグループが結構跳べるようになって引かかってもすぐにやり直しができたり大ムカデリレーでは紐の付け直しを女子で行ったり間隔が狭くなるのは前と後ろのスピードが違うなどといった課題に気づけたり歩幅を大きくする等といった改善点もあがりました。全級リレーはクラスみんなで走順を考えて、バトンのもらう位置を工夫したりしました。

体育祭当日では大縄跳びは2回の差で勝つことができました。全級リレーも3組に負けてしまったけどバトンミスはなかったし全員が本気で走っていて良かったと思います。ムカデリレーは女子も男子も止まることなく進めて最後ギリギリで勝つことができました。学年代表リレーではみんなが全力で走っていてとてもいい最後の体育祭でした。結果は同点で少し悔しいけど優勝できて良かったです。最後のクラスが2組で良かったです。

「体育祭を終えて」 3年3組 生徒

体育祭が終わっても落ち着いていない自分や、終わって少し寂しく感じている自分があります。僕は、それぐらい本気で挑んだ中学校最後の体育祭で、仲間の大切さを知り、感謝の気持ちをもちました。

この体育祭での僕の目標は、勝ちたいというのはもちろんありましたが、一番はこのクラスと、この学年と、最後の体育祭を思いっきり楽しむということでした。そのために、実行委員会の大久保さん、有我さん、加藤さん、土屋さん、石山さんとほぼ毎日体育祭のことを考えていました。みんなは、いつも残って話し合い、作戦を立て、ムカデのひもを直していました。そんなみんなの姿を見て自分も、もっともっと頑張らないといけないと気合を入れ直していました。みんなの姿が僕の背中を押してくれていたのです。だからこそ感じたプレッシャーや責任は大きかったです。集まりや朝練で遅れてはいけない、後輩のお手本に、学年や全校生徒の前で話すときにいい言葉を、行進でミスをしないように、といろんなことで固くなっていました。実行委員長としていろいろな責任

やプレッシャーを感じるのには仕方のないことだと思っていました。しかし、予想以上のプレッシャーに押しつぶされそうになることもありました。それを救ってくれたのが仲間の存在でした。実行委員の仲間と真剣にやりながら少しふざけた時間、クラスの仲間と楽しく、一生懸命に練習した時間、そんな小さな時間が僕の大きな心の支えになっていました。そこで仲間の本当の意味に気づきました。僕は今、自分についてきてくれた仲間、支えてくれた仲間にすごく感謝しています。また、この仲間たちとの関係をもっと大事にしていきたいと思いました。体育祭を開催してくれた先生方、応援に駆けつけてくれた保護者、体育祭に本気で望んでくれた全校生徒、大切な仲間たち、僕は色々な人に感謝しています。

僕はこれからの生活でも仲間を大切にし、感謝の気持ちを忘れずに過ごせるようにしたいです。そして、体育祭で培ったことを僕は絶対無駄にせず、忘れません。

「体育祭のふり返り」 3年3組 生徒

私が体育祭で頑張ったことは、体育委員としてクラスを引っ張っていくことです。私は3年生になって初めて体育委員になりました。正直、「本当にこのクラスをリードし、まとめられるのか」、「体育委員が私で良かったのか」という、プレッシャーや不安でいっぱいでした。そんなときに阿部先生は、「体育委員が先を読んで指示しないと、全体も遅れてしまって進まないよ」と言っていました。それを聞いて、体育祭の練習が始まる頃から私は「どういった練習をすればいいのか」や、「その練習をスムーズに進めて、みんなが納得して行けるためにはどうすればいいのか」ということをあらかじめ考えて、適切な指示を出すことから頑張っていました。ムカデは、最初は歩く練習からして、歩幅やリズムがあってきたらリズムを早くして行って走れるようになりました。大縄は、ラストスパートでかなり回数が変わることがわかったので、そのラストスパートで全力を出し切るのを大切にしつつ、連続で回数を増やしていきました。そして、どの練習でも、全員で気持ちを揃えてできるように、全員で決めるべきことはみんなで話し合って決めることができました。みんなが「頑張ろう」という気持ちで頑張れるように、アドバイスし合ったり、前向きな言葉をかけられるようになりました。そして、みんな練習した時間はあっという間に過ぎていき、本番になりました。大縄は、3組が237回で、2組は239回でした。2回だけの差で10点も差がついてしまったのが悔しかったです。悔しすぎて跳んだ回数を今でもはっきり覚えています。リレーは、とにかく一人ひとりが違反に気をつけて全力で走ることが大切です。それを全員ができていたので1位を取ることができました。ムカデは、最後の練習のとき、女子のところはリズムや歩幅があっていたので正直ぶっちぎりで1位だろうと思っていました。ですが、本番では1組と3組が急成長していました。最後の最後で追い上げそうでしたが、結果は惜しくも2位でした。お互いに全力で練習して、全力で戦ったので、熱い戦いでした。そしてすごく楽しかったです。最後の結果発表では、同点でしたが優勝することができました。みんなを優勝に導くことができたこと、心をつなぐお互いを信じて体育祭に挑むことができたのがとても嬉しかったです。この経験を活かして、自分がまたこの立場になったときはまたクラスのみんなを引っ張っていけるように頑張ります。

感じの良い人、悪い人・・・先生担当

皆さんが思う「感じの良い人」はどんな人ですか。

- ・あいさつをしたら笑顔で返してくれる
- ・廊下ですれ違う時軽く会釈をした
- ・廊下を歩くとき少し片側に寄った
- ・ものを片付けている時「手伝います」と一緒に手伝ってくれた
- ・話を聞くとときに相槌を打っている（共感してくれる）

職員室を出てから教室に行くまでに私が思いつく「感じの良さ」を挙げてみました。

「感じの良さ」に必要なのは、思いやりや言葉の使い方、明るい表情、誠実さ、素直であることなどが挙げられると思います。授業だけでなく行事など色々な人との関りがある時に、物事をうまく進める（気持ちよく進める）にはお互いの配慮が必要です。

中学校は集団生活です。皆が何かの役割をもって生活をしていますが、自分のことだけやればいい、それだけではギクシャクしますよね。ふざけの延長で力加減が心配な人、言葉が強すぎる人、自己中心的な人・・・少し気になります。一人一人の少しの「良い感じ」で学校生活も穏やかで過ごしやすいものになるのではないのでしょうか。大袈裟かもしれませんが、毎日の気持ちの持ち方や行動で人格は形成されるのだと思います。

感じの良い学年を目指して Heart and Mind をいつも胸に。

来週の予定と時間割

6月17日（月）通常授業

18日（火）委員会・評議会 PU 数学2

19日（水）期末考査1週間前 定期考査キャンペーン開始 職員会議

20日（木）音楽祭実行委員会 PU 英語3

21日（金）⑤⑥進路説明会

1組						2組						3組					
	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21		6/17	6/18	6/19	6/20	6/21		6/17	6/18	6/19	6/20	6/21
	月	火	水	木	金		月	火	水	木	金		月	火	水	木	金
1	総合	社会 井上	理科 山際	英語 鈴木	英語 渡邊	1	総合	国語 佐藤	社会 今堀	英語 渡邊	理科 山際	1	総合	理科 山際	技術 長久保	理科 山際	体育 阿部日野
2	数学 森竹白石 本澤	国語 佐藤	技術 長久保	家庭 佐藤	体育 阿部日野	2	数学 森竹白石 本澤	社会 井上	音楽 室谷	美術 荻野	体育 阿部日野	2	社会 今堀	社会 今堀	社会 今堀	英語 鈴木	英語 渡邊鈴木
3	理科 山際	体育 阿部日野	英語 渡邊鈴木 長谷川	国語 佐藤	理科 山際	3	美術 荻野	体育 阿部日野	英語 渡邊鈴木 長谷川	技術 長久保	英語 鈴木	3	数学 森竹白石	数学 森竹白石	数学 森竹白石	数学 森竹白石	美術 荻野
4	国語 佐藤	数学 森竹白石 本澤	数学 森竹白石 本澤	数学 森竹白石 本澤	美術 荻野	4	社会 今堀	数学 森竹白石 本澤	数学 森竹白石 本澤	数学 森竹白石 本澤	国語 佐藤	4	理科 山際	体育 阿部日野	英語 鈴木	美術 荻野	理科 山際
5	社会 今堀	英語 渡邊鈴木 長谷川	総合	社会 今堀	進路	5	理科 山際	英語 渡邊鈴木 長谷川	総合	国語 佐藤	進路	5	国語 佐藤	国語 佐藤	総合	音楽 室谷	進路
6	道徳	社会 今堀		音楽 室谷	説明会	6	道徳	理科 山際		社会 今堀	説明会	6	道徳	英語 鈴木		国語 佐藤	説明会